

品質の向上と安定した収量は有機物の施用から!!

防除は適期に一斉防除を行います!!

農薬の使用については使用基準を守りまじょう!!

月	6月		7月			8月			9月			10月
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
生育相	育苗期 田植期		分けつ期			幼穂分化期			穂ばらみ期 出穂期			収穫期
水管理	田植え		有効茎数(1株20本) 最高分けつ期			穂肥			出穂期			収穫
栽培管理の要点	浅水		中干し			花水・穂水			走り水(飽水)			収穫適期 出穂後日数 39日~40日
主要病害虫	セジロウムカ、ツマグロヨコバイ		葉いもち、穂いもち			コブノメイガ幼虫、コブノメイガ成虫			紋枯病、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ成虫			トビイロウムカ

月	6月		7月			8月			9月			10月
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
病害虫名	コブノメイガ、ウツカ、カメムシ類		ウツカ、コブノメイガ、カメムシ類			ウツカ、コブノメイガ、カメムシ類			カメムシ類			
粉剤・粒剤体系	スクラム		スクミン(10アール1kg)			スクミン(10アール1kg)			エクシード粉剤DL(10アール3kg)			収穫後の管理 ★石灰窒素の散布 ・収穫後カット稲わらで覆われている田に(気温15℃以上)石灰窒素を散布し鋤き込むと腐熟促進される。 ★土壌改良資材の施用 ・左下欄を参考 ★田圃の鋤き込み ◎病害虫防除の際は必ず登録農薬を使用しましょう!
液剤体系	箱粒剤		ウィニングラン又はエンペラー			ダブルカットバリダシフロアブル + エキシードフロアブル(2000倍)又はトレボン乳剤(1000倍)			スタークル液剤10			
防除上の注意	田植え3日前までに散布する。吸収し効果を発揮させる為、苗箱剤は有効成分を十分散布する。		スクミンはジャンボタニシに。対して食害作用の効果がある。			種子消毒の実施 スミチオン乳剤(1,000倍)+テクリードCフロアブル(200倍)の液に24時間浸漬する。 種子消毒薬剤の目安			液剤散布時は湛水散布をする。			液剤の農薬必要量 ◎散布液量100ℓ/10アール

時期	対象病害虫	薬剤名	施用量(10a)	注意事項
7月下旬	いもち病 紋枯病 ウンカ・カメムシ類	ゴウケツモンスター粒剤	3kg	湛水散布、散布後4~5日間湛水状態を保つ(収穫45日前まで)
7月下旬	稲こらじ病 紋枯病	モンガリット粒剤	4kg	湛水散布(出穂28日前~14日前まで)
7月下旬	コブノメイガ	バダン粒剤	4kg	コブノメイガ最盛期に散布
7月下旬	コブノメイガ ウンカ類	トレボン粉剤DL トレボン乳剤	4kg 2000倍	発蛾最盛期の1週間後に散布
7月下旬	紋枯病	バリダシ粉剤DL バリダシ液剤5	4kg 1000倍	出穂14日前までに散布
8月上旬	稲こらじ病	Zポルドー粉剤DL	4kg	出穂10日前までに散布
8月上旬	いもち病	ブラシン粉剤DL ブラシフロアブル	4kg 1000倍	出穂7日前までに散布

肥料設計 (10a)		肥料成分量			
区分	基肥	追肥	N	P	K
肥料名 施肥量	化学肥料10-16-16 (10-16-16) 40kg	化成肥料16-0-16 (16-0-16) 20kg	7.2kg	6.4kg	9.6kg
	骨土入エムコート477 (基肥一発緩効性肥料) (14-17-17+3(骨土)) 100日タイプ 40kg		5.6kg	6.8kg	6.8kg
	超一発DX普通期用(基肥一発緩効性肥料) (12-10-10+1(骨土)) 100日タイプ 50kg(ケイ酸・腐植酸)		6.0kg	5.0kg	5.0kg

土壌改良資材 (10a)			
肥料名	珪鉄・ミネラルG(200kg)	とれ太郎(60kg)	土改王(60~90kg)
使い方	珪酸・鉄・マンガン・土壌のアルカリ性の供給。秋落ち田や湿田に。	珪酸・骨土・土壌のアルカリ性の供給。	リン酸+カリ+骨土+珪酸の供給。登熟歩合や食味の向上、生育が良好に。
施用時期	秋冬~早春に施用する。	秋冬~早春に施用する。	田植前に散布する。

除草剤の使用基準 (10a)			
区分	散布時期	薬剤名	注意事項
基本薬剤	移植時~10日	ウィニングラン	ノビエ2.5葉期まで、湛水散布。
アオノリ	活着後~ 収穫45日前まで	モゲトン粒剤	藻類(アオミドロ)3kgを湛水散布。
ヒエ以外	田植え後15日~ 収穫60日前まで	バサグラン粒剤・液剤	ヒエ以外の水田雑草、3kg又は700ml/100ℓを落水散布。
ヒエ専用	田植え後14日~ 収穫50日前まで	トドメMF剤	ノビエ5葉期まで(乳剤は7葉期)、1kgを湛水散布。
ヒエ専用	田植え後 15日~40日	クリンチャーEW(液) クリンチャーパスME	ヒエ5葉期まで、100ml/100ℓを湛水または落水散布。
水田雑草	田植え後14日~ 収穫60日前まで	レプラス剤	ノビエ4葉期まで、イネ科、広葉雑草、湛水散布。

- ポジティブリスト制度により農薬の残留基準が厳しくなりました。農薬散布は、近隣作物にかからないようにこれまで以上に気を付けまじょう。
1. 風の強い日は散布を控える
 2. 散布の位置と方向に注意
 3. 散布機の圧力と風量を適切に
 4. 適切なノズル使用
 5. 遮断シート・ネットの活用
 6. お互いに連絡を取り合う